

環境委員会

委員一覧 (21名)

委員長	青山	繁晴 (自民)	尾辻	秀久 (自民)	伊藤	孝江 (公明)
理事	小野田	紀美 (自民)	加田	裕之 (自民)	高橋	次郎 (公明)
理事	梶原	大介 (自民)	武見	敬三 (自民)	浜野	喜史 (民主)
理事	川田	龍平 (立憲)	鶴保	庸介 (自民)	山本	太郎 (れ新)
理事	串田	誠一 (維新)	中田	宏 (自民)	ながえ	孝子 (無)
理事	山下	芳生 (共産)	青木	愛 (立憲)	— 欠員2名 —	
	石井	準一 (自民)	三上	えり (立憲)	(会期終了日 現在)	

(1) 審議概観

第217回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出2件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願3種類59件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案は、最近における一部の鳥獣の生息地の範囲の拡大等に起因する人の生命又は身体に対する危害の発生の実情に鑑み、当該危害を防止するため、危険鳥獣の銃器を使用した捕獲等に関する制度を創設しようとするものである。

委員会においては、宮城県へ委員派遣を行うとともに、緊急銃猟を実施する市町村への支援策、捕獲従事者を始めとする専門的人材の確保・育成の在り方等について質疑が行われた。質疑を終局した後、立憲民主・社民・無所属及び日本共産党より「危険鳥獣」の用語を「緊急対処鳥獣」に改めること等を内容とする修正案が提出された。討論の後、順次採決の結果、修正案は否決され、本法律案は多数をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対して、附帯決議を行った。

環境影響評価法の一部を改正する法律案は、環境影響評価法の施行を通じて明らかになった課題等に対応するため、風力発電事業等に係る工作物の建替えに関する環境影響評価手続の見直しを行うこと、環境影響評価に係る書類の公開を環境大臣が行うこと等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、宮城県へ委員派遣を行うとともに、参考人から意見を聴取したほか、建替事業における適切な環境配慮の確保の必要性、環境影響評価図書の継続公開の在り方、環境影響評価制度の意義と改善の必要性等について質疑が行われた。質疑を終局した後、れいわ新選組より、建替事業に係る配慮書手続の対象となる既存工作物から、地熱発電所を除く火力発電所及び原子力発電所を除外すること等を内容とする修正案が提出された。討論の後、順次採決の結果、修正案は否決され、本法律案は多数をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対して、附帯決議を行った。

〔国政調査等〕

2月17日～18日、宮城県の環境及び公害問題に関する実情を調査し、もって今期国会への提出を予定されている鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案等の審査に資するため、宮城県へ委員派遣を行った。

3月11日、環境行政等の基本施策に関する件について浅尾国務大臣から所信を聴くとともに、令和7年度環境省予算及び環境保全経費の概要に関する件について中田環境副大臣から、公害等調整委員会の業務等に関する件について永野公害等調整委員会委員長から、原子力規制委員会の業務に関する件について山中原子力規制委員会委員長からそれぞれ説明を聴いた。

3月13日、環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について調査を行い、太陽光パネルのリサイクルを進める上での課題に対する環境省の見解、漁業関係者などの意見を踏まえ地域の実情に応じた栄養塩類管理を実施する必要性、水俣病問題につき前環境大臣から引き継がれた内容と対応に当たっての環境大臣の決意、原発に関し能登半島地震から得られた教訓と新規制基準への反映状況、2050年ネットゼロに向けた洋上風力導入推進について環境省の主導的関与の必要性、動物愛護管理の観点を踏まえた環境省におけるアニマルウェルフェアの位置付け、米国がパリ協定を離脱した中での我が国の脱炭素化への取組方針とJCM活用への見解、新たなNDCが地球や若者の未来より経済界の利益・要求を優先したとの指摘に対する環境大臣の見解、原子力災害対策指針を福島第一原発事故の教訓を踏まえ実効性のあるものとしていくことの重要性、COP27からCOP29に参加した女性交渉官の割合及び今後の女性交渉官参加の見通し等について質疑を行った。

3月24日、予算委員会から委嘱された令和7年度一般会計予算、同特別会計予算、同政府関係機関予算（総務省所管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について審査を行い、スクラップを不適正に保管等している不適正ヤードを国として全国的に規制する必要性、PFASに関する科学的知見等の充実のため国内関連研究を後押しする必要性、福島県内除去土壌等の県外最終処分の実現に向けた環境大臣の決意、災害時におけるペットとの同行同伴避難の推進のための令和7年度予算に対する環境大臣の認識、海運分野の脱炭素化のためゼロエミッション船の普及に向けた財政的支援と海技人材の確保・育成を進める必要性、CCS事業は日本から東南アジアへのCO₂の投棄に相当するとの批判に対する環境大臣の受け止め、最新の医学的知見に基づき放射線被ばくによる固形がんの労災認定に係る判断基準を見直す必要性、川ごみの海岸漂着物等地域対策推進事業の補助対象への追加又は回収・処理を支援する新たな制度創設の必要性等について質疑を行った。

4月15日、黄砂対策における日中韓3か国環境大臣会合の役割及び我が国のリーダーシップ発揮に向けた環境大臣の決意、農用地の土壤汚染対策について人の健康という観点から環境省が総合的な対策を推進する必要性、定置用リチウムイオン蓄電池のリサイクル及び廃棄に係る課題の早期検討の必要性、鳥獣保護管理法に野生動物の生息域となる森林保全の観点も盛り込み同時に取り組む必要性、GX等によるコストの価格転嫁を社会全体として受け入れる必要性、国際博覧会協会に大阪・関西万博会場のメタンガス対策の実施状況につき報告を求め改善指導を行う必要性、公費解体に従事する作業員宿舎の整備に要

する費用に対する補助内容、山火事の早期発見、早期対応策についての環境大臣の所感等について質疑を行った。

5月29日、職場における熱中症対策を強化する必要性、食品安全委員会PFASワーキンググループ準備作業の議事録公開の必要性、都道府県主導によるリチウムイオン蓄電池広域回収の全国導入に向けた環境大臣の決意、アニマルカフェに対し地方公共団体において統一的な規制を行う必要性、2023年度の我が国の温室効果ガス排出量及び吸収量の報告において「オントラックな減少傾向」との表現を見直した意図、周辺的生活環境の保全に支障を来している奈良県二上山の産業廃棄物中間処理施設の状況に対する環境省の見解、奥能登4市町の災害等廃棄物処理事業費に係る国庫負担率を早期に明示する必要性、地方公共団体による脱炭素先行地域の計画策定・申請に対する環境省の支援策等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和7年1月28日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。
- 委員派遣を行うことを決定した。

○令和7年3月11日(火) (第2回)

- 環境行政等の基本施策に関する件について浅尾国務大臣から所信を聴いた。
- 令和7年度環境省予算及び環境保全経費の概要に関する件について中田環境副大臣から説明を聴いた。
- 公害等調整委員会の業務等に関する件について永野公害等調整委員会委員長から説明を聴いた。
- 原子力規制委員会の業務に関する件について山中原子力規制委員会委員長から説明を聴いた。
- 派遣委員から報告を聴いた。

○令和7年3月13日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について浅尾国務大臣、小林環境副大臣、中田環境副大臣、五十嵐環境大臣政務官、勝目内閣府大臣政務官、山中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

梶原大介君（自民）、加田裕之君（自民）、三上えり君（立憲）、川田龍平君（立憲）、伊藤孝江君（公明）、串田誠一君（維新）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

○令和7年3月24日(月) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和7年度一般会計予算（衆議院送付）
令和7年度特別会計予算（衆議院送付）
令和7年度政府関係機関予算（衆議院送付）

（総務省所管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について浅尾環境大臣、鰐淵厚生労働副大臣、山中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

小野田紀美君（自民）、川田龍平君（立憲）、高橋次郎君（公明）、串田誠一君（維新）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和7年4月15日（火）（第5回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 黄砂対策における国際連携の在り方に関する件、農用地の土壌汚染防止施策に関する件、リチウムイオン蓄電池に係る適正処理の推進に関する件、野生動植物の保全施策の在り方に関する件、労務費等の上昇に伴う適正な価格転嫁の在り方に関する件、大阪・関西万博会場におけるメタンガス対策に関する件、公費解体に従事する作業員の宿泊経費に係る補助に関する件、山林火災を踏まえた森林の整備及び管理の在り方に関する件等について浅尾環境大臣、中田環境副大臣、小林環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

加田裕之君（自民）、川田龍平君（立憲）、伊藤孝江君（公明）、串田誠一君（維新）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

- 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第27号）（衆議院送付）について浅尾環境大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和7年4月17日（木）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第27号）（衆議院送付）について浅尾環境大臣、小林環境副大臣、山本農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

小野田紀美君（自民）、三上えり君（立憲）、高橋次郎君（公明）、串田誠一君（維新）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

（閣法第27号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無（ながえ孝子君）

反対会派 れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和7年5月29日（木）（第7回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 職場における熱中症対策に関する件、PFASに係る食品健康影響評価の在り方に関する件、リチウムイオン蓄電池の地方公共団体による回収促進策に関する件、アニマルカフェの規制の在り方に関する件、我が国の温室効果ガス排出量の減少要因に関する件、奈良県二上山の産業廃棄物中間処理施設の盛土による環境問題に関する件、奥能登4市町の災害廃棄物処理に係る国庫補助の在り方に関する件、脱炭素先行地域の申請支援に関する件等について浅尾環境大臣、小林環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

小野田紀美君（自民）、川田龍平君（立憲）、高橋次郎君（公明）、串田誠一君（維新）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

○令和7年6月10日(火) (第8回)

- 環境影響評価法の一部を改正する法律案(閣法第51号)(衆議院送付)について浅尾環境大臣から趣旨説明を聴いた。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 環境影響評価法の一部を改正する法律案(閣法第51号)(衆議院送付)について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

一般財団法人電力中央研究所副研究参事 阿部聖哉君
東京科学大学名誉教授、千葉商科大学前学長 原科幸彦君
全国再エネ問題連絡会共同代表、弁護士 室谷悠子君

[質疑者]

梶原大介君(自民)、青木愛君(立憲)、伊藤孝江君(公明)、串田誠一君(維新)、浜野喜史君(民主)、山下芳生君(共産)、山本太郎君(れ新)、ながえ孝子君(無)

○令和7年6月12日(木) (第9回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 環境影響評価法の一部を改正する法律案(閣法第51号)(衆議院送付)について浅尾環境大臣、小林環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

梶原大介君(自民)、三上えり君(立憲)、川田龍平君(立憲)、伊藤孝江君(公明)、串田誠一君(維新)、浜野喜史君(民主)、山下芳生君(共産)、山本太郎君(れ新)、ながえ孝子君(無)

(閣法第51号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、無(ながえ孝子君)

反対会派 共産、れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和7年6月20日(金) (第10回)

- 請願第63号外58件を審査した。
- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

委員派遣

○令和7年2月17日(月)～18日(火)

- 宮城県の環境及び公害問題に関する実情を調査し、もって今期国会への提出を予定されている鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案等の審査に資するため

[派遣地]

宮城県

[派遣委員]

青山繁晴君(自民)、小野田紀美君(自民)、梶原大介君(自民)、川田龍平君(立憲)、串田誠一君(維新)、山下芳生君(共産)、高橋次郎君(公明)